



## みんな全力を尽くしました！桐生市陸上記録会開催

10月2日（木）桐生市陸上競技場で陸上記録会が開催され、西小からも多くの児童が参加しました。かすかに雲がかかった秋らしい青空と、鮮やかなトラックの青色に挟まれた中で行われた大会は、陸上記録会に相応しいコンディションでした。

開会宣言の後、最初は「50メートルハードル」「走り高跳び」が始まりました。どの学校の選手も選ばれた精鋭だけあって、行動がきびきびしています。西小の応援席からそれぞれの競技場所は、遠いのですが、アナウンスが聞こえ、スタート合図があると、「がんばれ」「その調子」などとエールを送ったり、拍手をしたりしていました。

児童が全力を尽くし、励まし合う姿は、いつ見ても胸が熱くなります。結果は、6人が県大会出場です。10月28日（火）の県大会での活躍も楽しみです。



【陸上記録会の様子】

## きれいになりました！運動会に向けたPTA奉仕作業に感謝

10月5日（日）毎年、運動会を控えたこの時期にPTAの方々に校庭の側溝に溜まった土砂をきれいにしていただいています。今年もたくさんの保護者の方、子どもたちに協力していただき、きれいにすることができました。ご協力頂きました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



【9区区民運動会開催】

きれいになった校庭では、この日9区の区民運動会が開催されました。地域の方々と西小の子どもたちが世代を超えて、楽しく競技をする様子を拝見させていただきました。また、運営にあたられた方々の手際の良さにも感心させられました。18日は小学校の運動会ですので、是非、皆様お越しください。

## 昭和公民館文化祭

10月4日（土）・5日（日）の2日間、昭和公民館文化祭が開催されました。西小学校区は、昭和公民館が管轄する地区も含まれます。当日は、各サークル活動の発表会や展示、物販などがあり、多くの来場者で賑わっていました。



公民館は地域コミュニティの中心で、学校とは異なり世代を超えて様々なキャリアをもった多くの方々と交流できる場であると考えます。

これからも子どもたちが気軽に訪れ、地域の多くの方々と交流することができ、そして学ぶことができる公民館と子どもたちが連携できればと考えています。

## RENEWAL 西ふれあいまつり 2025

9月27日（土）西ふれあいまつりが、美和神社で開催されました。昨年までは、西公民館を会場として、夏休みの日中に行われていましたが、昨今の猛暑を避けてのことでしょうか？この時期の開催となりました。会場や時間帯が変わるだけで、おまつの雰囲気ガラッと変わります。

当日は、西小からも大勢の子どもたちが参加させていただき、我が家の自慢料理の模擬店や中央中の吹奏楽部、アマチュアバンドによる演奏なども楽しむことができました。

なお、当日は本校のPTA本部の皆様や地域ふれあい部の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。



【大勢の方で賑わったふれあいまつりの様子】

### <お知らせ>

右のQRコードから西小のWebページをご覧くださいと、過去の「学校だより」等がご覧いただけます。



西小ホームページ

# 西小の取組紹介⑨

がんばっている西小の子どもたちや先生方を紹介します！

## 中学生と楽しくふれあい 中学生職場体験学習

10月1日（水）～2日（木）の2日間、中央中の2年生2名が本校の1、2年生と楽しく過ごしました。

1、2年生のクラスの朝の会から始まり、一緒に授業をしたり、休み時間に遊んでくれたり、給食を食べることで、中学生のお姉さんたちと、すっかり仲良くなれました。西小の子どもたちは、中学生のお姉さんが大好きで、たくさんお話しもできて、みんなうれしそうでした。

中央中学校では、毎年2年生がこの時期に、進路学習（キャリア教育）の一環として、様々な職業を体験し、社会に貢献する意欲や職業観などを育成するとともに、自己の適正についても考える機会として位置づけられています。



【中学生と運動会の表現演技の練習】

〇中学生の感想紹介＜一部抜粋＞

- ・西小は私の母校で、なつかしく、皆さんが温かく迎えてくれました。今回、教える立場になって、指導の大変さや達成感を感じられました。優しさあふれる西小で充実した2日間を過ごせました。改めて西小を誇りに思います。（〇さん）
- ・みんなが「先生」と呼んでくれたり、一緒に遊ぼうと誘ってくれてうれしかったです。困ってしまうこともあり、小学校の先生の大変さを実感しました。中学に戻ってから、人との接し方や伝え方で活かせることがたくさんありました。（Sさん）

## 「がん教育」の研究実践発表

9月30日（火）文部科学省指定「がん教育に関する外部人材活用事業」の授業公開（5年1組）と検討会が、本校で開催されました。当日は、学校関係者をはじめ、医療関係者の方や県や市の教育行政に携わる方々など、総勢50名を超える方が来校し授業を参観されました。

授業は学級活動「がんから命を守るために自分にできることを考えよう」というテーマで行われ、子どもたちが、健康と命の大切さに対する考えを深め、身近な人のためにできることを考え発表してくれるものでした。先生が子どもたちの自由な考えや発想を引き出し、児童一人一人の考えを生かし、内省が図られたすばらしい授業であったと思われます。

授業参観後には、これからの健康教育の在り方について、協議委員や検討委員の話し合いがもたれ、各専門家の立場から活発な意見交換が行われました。

授業後の参観者からは、「子どもたちが、健康課題に進んで向き合い、思考したり、話し合ったりすることができていた。」「自らの意見をしっかりと自分の言葉で発言でき素晴らしかった。」などの感想を聞くことができました。



【5年生授業公開の様子】

## 校長室から

### 「壁にぶつかっているときは、成長しているとき！」

先日、ある本を眺めていたときに「壁にぶつかっているときは…」この言葉が目にとまりました。その本には、『『どうしたらよいか？』の問いに、まずは自分なりに考えてやってみる。上手くいかなかったら、別の方法を考えてやってみる。試行錯誤しながら、必死にもがいていると周りの人が、その様子に気づき、つき合ってくれる。その過程で、少しずつ自分なりの『気づき』を言葉にしながら、解が『見える』感覚が醸成されていく。』といった記述がありました。そういえば、私にもそのような経験があったことが思い出されました。この言葉には続きがあります。「手応えを感じ、先が少し見えてきて、ほめられることがあると、このままの状態でいたいと思う。しかし、その中にずっといたら『成長しない』気もする」。私は、どちらの状況にも、「あるある」とうなづけましたが、自分自身が「壁にぶつかっている時」は、とにかく必死で、客観的に自分の成長なんて考えることはありません。やがて時が過ぎ、「心にゆとり」がもてたときに、この言葉「壁にぶつかっているとき…」が、私にとってしみる言葉になりました。子どもたちが、小さな壁にぶつかっている姿を目にしたとき、大人である私たちは、（テレビ番組「はじめてのおつかい」のように）まずは子どもたち自身が生まれながらにもっている自らが困難を乗り越えようとする力を信じ、見守り、さりげない（最低限の）支援でそれを乗り越えさせ、自信をもたせることができれば、きっと子どもたちの成長や自信につなげることができるのではないのでしょうか。そう考えると、がんばれば乗り越えられる壁ならば、そんなに悪くないと思いませんか？

